

光ヶ丘女子高等学校で金融教育を実施

高校生向け金融教育副教材「明るい未来へ TRY ! ~リスクと備え~」を活用

日本損害保険協会中部支部(委員長：渡辺一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)は、11月10日(月)に愛知県岡崎市にある光ヶ丘女子高等学校にて、当協会作成の高校生向け金融教育副教材「明るい未来へ TRY ! ~リスクと備え~(※)」を活用した授業を行いました。

当支部の及川事務局長が講師となり、3年生の「家庭科」の授業2時間を使って行いました。1時間目は今後の人生において予想されるリスクにはどんなものがあるか、そのリスクに備えるにはどうすればいいか、について説明しました。続いて2時間目はワークを使って質疑応答しながら、リスクを身近なものと捉えてもらえるように授業を行いました。最後に及川事務局長から、「18歳になると成人となり、契約に係る当事者となるため、経済活動に伴うリスクに自ら備える力を身に付ける必要がある」、「成人になって自らリスクマネジメントを意識するようになってほしい」との説明がありました。

生徒は当初リスクを自分事として考えられていないようでしたが、副教材「明るい未来へ TRY !」に記載されている具体的な出来事や数字を目にすることで、授業の終わりにはリスクに対する関心を深めた様子でした。

当支部では、引き続き金融リテラシー教育の推進に努めてまいります。

※ 明るい未来へ TRY ! ~リスクと備え~

家庭科・公民科の「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」に沿って活用可能な教材です。

高等学校の家庭科・公民科の授業で金融経済教育・社会保障教育・民間保険教育を実施する際に無料でご活用いただけます。

<https://www.sonpo.or.jp/education/high/>



<授業風景>



<講義を行う及川事務局長>